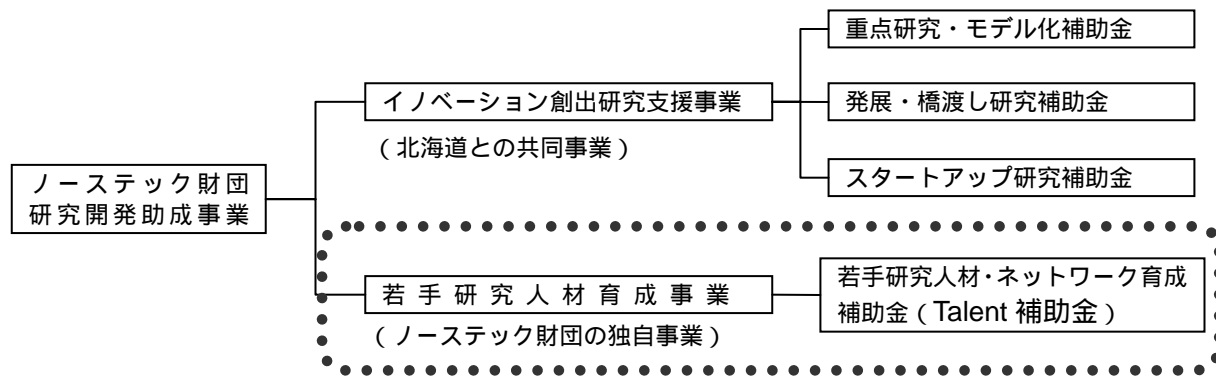


若手研究人材育成事業 若手研究人材・ネットワーク育成補助金 (ノーステック・Talent 補助金)

ノーステック財団・研究開発助成事業の体系での位置づけ

平成 20 年度における財団法人北海道科学技術総合振興センター(略称:ノーステック財団)の研究開発助成事業の体系は下図のとおりです。



1 若手研究人材育成事業の目的

「北海道の将来の地域振興や産業の発展に資する先導的な研究」を担う若手研究者を支援します。

- 1) 産業に貢献する意欲が高く、かつ独創的な研究を行う若手研究人材の育成
- 2) 将来、地域の戦略的なプロジェクト等における研究者ネットワークで中心的役割を担っていく人材の育成

2 応募の要件及び助成の条件

若手研究人材・ネットワーク育成補助金

(通称: Talent 補助金 Promotion for Young Research Talent and Network)

【補助金の目的】

将来の北海道の科学技術力の強化及び新産業創出に向け、研究者の人材育成及びネットワークの形成の視点から、若手研究者への支援を行います。

【対象となる研究者】

道内の試験研究機関(大学、民間等)に所属する40才以下の若手研究者を対象とします。
大学関連機関の場合、ポスドク以上(博士研究員・助教・講師等)を対象とし、学生は不可とします。

【研究期間】補助金交付決定の日から平成21年3月31日まで

【補助金額】40万円以内 (補助対象経費の10/10)

【採択予定件数】20件程度

【補助対象経費】直接研究活動に必要な経費/原材料・消耗品購入費、機器購入費、旅費等

研究奨励金(ノーステック財団・理事長賞)

補助金に採択となった研究案件の中で、特に斬新・独創的な提案をした研究者に対して、財団から研究奨励金(30万円)を贈呈致します。

【理事長賞】30万円(大賞1件 用途は本補助事業対象の研究経費に限りません)

3 応募の手続き及び日程

(1) 提出書類

申込書（様式 1 から 5）

原本：1 部（片面印刷、左肩ホチキス留め）

写し：5 部（片面印刷、左肩ホチキス留め）

電子データ：1 式（極力 MS-WORD（Word2003 以下を推奨）にて作成し、CD-R 等で保存を行い、ラベルに所属機関、氏名を記載すること）

注）手書き・切り貼りによる提出は受け付けません。

(2) 受付期間

提出期限：平成 20 年 7 月 11 日（金） 17:00 必着

郵送等の場合は、配達等の都合で締切までに届かない場合がありますので、締切の期限に余裕をもって送付されるようご注意願います。

(3) 提出方法及び提出先

所定の様式を、下記の提出期限までに当財団に提出してください。

なお、提出いただいた書類等は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

提出方法：ご持参または、郵便・宅配便等による送付

なお、E-mail および FAX による提出は受け付けられません。

提出先：〒001-0021

札幌市北区北 21 条西 12 丁目 北海道大学構内 コラボほっかいどう

財団法人北海道科学技術総合振興センター 研究開発部 あて

TEL：011-708-6392 FAX：011-747-1911

4 審査及び採択後の手続き等

【選定方法】

ノーステック財団による要件審査を経て、ノーステック財団が組織する「審査委員会」において、「事業目的との適合性」及び「研究内容の妥当性・独創性」の観点から審査の上、決定します。

【内 定】

平成 20 年 8 月下旬を目途に採否を内定する予定です。採否の結果は、応募者全員に文書でお知らせします。

【採択・公表】

採択された研究計画については、補助金交付決定後、財団ホームページにて公表（研究開発テーマ名、研究開発の概要など）いたします。

【補助金の交付】

採択内定者には、当財団が定める補助金交付申請書を提出していただきます。詳しくは、内定通知時に改めてお知らせします。

【補助金に係る経理】

補助金交付規定等に従って、補助金を適正に執行していただきます。また、補助金の管理責任は研究者が負います。ただし、補助金に係る経理事務については、原則、研究者から所属機関の事務局に委任していただきます。

5 研究開発実施上の留意点

【 報告書等の提出 】

事業完了後、補助事業精算報告書・研究成果報告書を提出していただきます。また、事業終了後フォローアップ調査にご協力頂きます。

【 研究成果の公表 】

研究の成果は、公表を原則としております。提出いただいた研究成果報告書は関係各機関等に配布するとともに、当財団のホームページに掲載させていただく予定です。

ただし、特許出願などの知的財産戦略上、支障がある場合は申し出てください。

また、ノーステック財団が実施するセミナー等で発表していただく場合があります。

【 知的財産権の帰属 】

本事業により生じた研究成果は、研究者に帰属しますが、特許権等の知的財産権の取扱いについては、原則として、所属する大学・研究機関等の規定等に従って下さい。

【 その他 】

本事業の目的に即して、ノーステック財団が実施する研究者ネットワーク支援事業・交流会等への参加をお願いすることがあります。

ノーステック財団では、若手研究者の交流機会を積極的に設け、次代を担う研究者ネットワーク作りを進めて参ります。

(様式1)

整理番号

平成20年度 ノーステック財団「研究開発助成事業」
若手研究人材・ネットワーク育成補助金 (Talent補助金)
申 込 書

【 応募区分 】

事業名	補助金名	研究領域
若手研究人材育成事業	Talent補助金	

【 研究開発テーマ 】

研究開発テーマ名	(30字程度)		
研究キーワード			
研究開発の概要 (150字以内・ <u>字数厳守</u>)			

【 研究者の連絡先 】

(フリガナ) 氏 名	年 齢	所 属 機 関 名 / 役 職 名	
印	歳		
連 絡 先	(勤・自) 電話番号 ()	FAX番号 ()	
	E-mail :		

【 他の助成制度での実施 (現在申請中のものを含む) の有無 】

共同研究者として参画している場合も含む (複数回答可)

無	有		
実施中	申請中		
助成機関名		助成制度名	
研究テーマ名			
助成期間	平成 年 月 ~ 平成 年 月	助成金額	
実施中	申請中		
助成機関名		助成制度名	
研究テーマ名			
助成期間	平成 年 月 ~ 平成 年 月	助成金額	

記載要領（様式1）

1. 応募区分

補助金名、研究分野：下記の中から該当する項目を記載してください。

事業名	補助金名	研究領域
若手研究人材育成事業	若手研究人材・ネットワーク育成補助金 (Talent補助金)	・ 医学系研究領域 ： (薬学、基礎医学、臨床医学、歯学、看護学 など) ・ 理・工学系研究領域 ： (情報学、ナノ・マイクロ科学、化学、応用物理学、機械・電子電気工学、建築・土木工学、材料・プロセス工学、資源システム・エネルギー工学 など) ・ 生物・農学系研究領域 ： (作物・園芸学、土壌・植物栄養学、応用生物化学、微生物学、食品科学、森林科学、水産学、畜産学、獣医学、生物科学、ゲノム科学 など)

3領域の中から、最も適当なものを1つ選択し、必ず記載してください。

2. 研究開発テーマ

- (1) 研究開発テーマ名：**30字以内**で表現してください(サブタイトルをつける場合は、それを含めて)。
- (2) 研究キーワード：4つ程度記載してください。
- (3) 研究開発の概要：研究開発テーマの詳細をコンパクトに取りまとめ、**150字以内**で表現してください。

3. 研究者の連絡先

- (1) 氏名：フリガナは必ずふって下さい。認印は必ず必要です。
- (2) 所属機関名/役職名：所属機関名には所属部署まで記載してください。
- (3) 連絡先：日中連絡が取れる連絡先(TEL、FAX、E-mail)を記載してください。

4. 他の助成制度での実施の有無(共同研究者として参画している場合も含む。)

本提案と内容が類似していると思われる課題について、他の制度(省庁・自治体・その他の機関等)での実施(現在申請中のものを含む)があれば、その省庁・自治体・機関名、制度名、課題名、期間(予定を含む)、金額を記載してください。

原則、他の助成制度の申請テーマが採択され、当財団で採択したものと同一趣旨のものであると判断した場合は、当財団の採択を辞退していただきます。

(様式2)

【 研究開発テーマの詳細 】

研究開発テーマの背景及び目的
関連する研究分野の動向
研究開発テーマの内容及び方法
研究開発成果の今後の展開

記載要領 (様式2)

研究開発テーマの詳細：

- (1) **研究開発の背景及び目的**：研究開発の必要性、波及性などにも触れて記載してください
- (2) **関連する研究分野の動向**：提案者自身が把握している関連研究分野の動向と、その中での本研究開発テーマの位置づけに触れて記載してください。
- (3) **研究開発テーマの内容及び方法**：独創性、革新性などにも触れ、具体的に記載してください。
- (4) **研究開発成果の今後の展開**：研究成果が将来どのように活用される可能性があるか、また、今後想定される共同研究などを含めて記載してください。

様式2 全体で、2枚以内で記載してください。

(様式3)

【 研究者の詳細 】

(フリガナ) 氏 名		性別	所属機関名 / 役職名	
		男・女		
自宅住所			自宅電話番号	
〒			()	
所属住所			所属電話番号	
〒			()	
生 年 月 日		19 年 月 日 (歳)		
略 歴	19 年 月	(最終学歴)		
	19 年 月			
	19 年 月			
	19 年 月	現在に至る		
所属学会 (役職名)				
主たる研究・技術開発分野				
研究・技術開発キーワード				
過去の研究・技術開発実績 (著書、研究論文、特許等)				
過去の助成実績				

記載要領 (様式3)

研究者の詳細：

- (1) 氏 名： フリガナは必ずふってください。
- (2) 生年月日 (年齢)： 西暦で記載して下さい。
- (3) 所属機関名 / 役職名： 所属機関名には所属部署まで記載してください。
- (4) 略 歴： 最終学歴、主な職歴等を記載してください。
- (5) 所属学会 (役職名)： 主なものを3つまで記載してください。役職に就かれている場合はカッコ書きでその役職名を記載してください。
- (6) 研究・技術開発キーワード： 主なものを3つまで記載してください。
- (7) 過去の研究・技術開発実績： 代表的な著書及び研究論文について、題名、発表誌、出版社名等を記載してください。特許等については、名称及び出願番号を記載してください。著者名が多数にわたる場合、数名を記載し以下を省略して下さい。その他、これまで行ってきた研究・技術開発に関して適当な著書、研究論文、特許について該当がない場合は、その内容を記載してください。
- (8) 過去の補助実績： 過去3年間において省庁・自治体・その他助成機関等から補助金の交付を受けた研究について、交付年度、課題名、成果概要、省庁・自治体・機関名、制度名、補助金額を年代の新しい順に記載してください。

(様式4)

【 研究開発費の内訳 】

(単位：千円)

経費区分	研究開発費 (補助申請額のみ)	積算内訳 (単価・数量・使用目的等)
機器購入費		
原材料・ 消耗品購入費		
旅費		
その他経費		
合計		

記載要領 (様式4)

研究開発費の内訳：

経理処理上当事業に要する経費として区分しがたいもの(既存設備・機械の使用料、固定資産税、水道光熱費等)および、施設等の改造費、交際費、会議費、金融機関等への振込手数料、雑費等の一般管理費などの支出は対象外とします。

【補助対象経費の範囲】

経費区分	補助対象経費の範囲
原材料・消耗品購入費	研究の遂行に直接要する書籍、試薬、資材、部品、消耗品等の購入要する経費
機器購入費	研究の遂行に必要な機器・設備類の購入に要する経費 また、購入した機器設備の所有権は、原則、補助を受けた研究者に帰属します。ただし、研究者の所属機関に寄附することができます。
旅費	研究者および本研究を補助する研究補助者が研究に必要な資料・情報収集、各種調査を行うための旅費、研究に要する検討会議、打合せのための旅費、本研究成果を発表するために学会等へ出席する場合の旅費で、当該旅行区間の旅行運賃、滞在費。
その他経費	上記以外のものであって、研究の遂行に必要と認められる経費。例えば、外注費、技術指導謝金、設備使用料、印刷製本費等

積算内訳： 研究開発費総額に対し、支出科目ごとに使用目的等を記載してください。

(様式5)

【 そ の 他 】

記載要領 (様式 5)

その他： フリー・シートです。当該研究開発の重要性等について、指定様式で表現しきれなかった事項をご自由に記載してください(ただし、1~2枚程度とします)。

- e.g. 研究内容を図示するなどして、理解の助けとする。
現在までの自己又は他の研究者の類似研究と、その相異を明らかにし、今回応募した研究開発の独創性、独自性を明らかにする。
指定様式では欄が狭くて書ききれなかったものを追加で記載する。etc

[その他注意事項]

- (1) 提案者が、既に他の助成を受けており、100%専念する義務がある場合は応募できません。
- (2) 各様式とも手書き、切り貼りしたものは受け付けできません。
- (3) 同一の研究者が今回の公募で応募できる申し込みは1件に限ります。